

大粒で良品質・多収の「粒すけ」生産を目指す！

～水稲新品種「粒すけ」の現地検討会を開催～

東葛飾農業事務所改良普及課 令和3年9月7日発

農業事務所では、水稲新品種「粒すけ」の品種特性を生かした栽培方法の普及を図り、「粒すけ」専用一発肥料の現地への適応性を検討するため、8月6日に柏市内の水田で現地検討会を開催したところ、44名の参加がありました。

検討会では、大粒・多収の「粒すけ」を生産するためのポイントと、「粒すけ」専用一発肥料の特性や使用上の留意点について説明しながら、生育状況を確認しました。また、出穂後の籾を吸汁加害する「斑点米カメムシ類」や、近年、水田への侵入が確認されている難防除雑草「ナガエツルノゲイトウ」の防除方法についても情報提供しました。

参加者からは、「施肥方法の違いにより、食味がどのように変わるかが気になる」「来年度から栽培面積を拡大したい」との声が聞かれました。

農業事務所では、今後も「粒すけ」の栽培面積拡大に向けた支援を続けていきます。



ほ場を確認しながら粒すけの栽培管理について理解を深めました



コシヒカリと粒すけの品種特性の違いを確認しました